

鶴尾小児童の 下校を見守り

四国中央観光社員

高松市の貸し切りバス会社
の四国中央観光（河田圭
一郎社長）は17日、高松南
署と共に、同市松並町の鶴
尾小学校付近の交差点で下
校時の児童見守り活動を行
った。社員らが通学路に立
ち、児童に交通安全を呼び
掛けるとともに、不審者に
目を光らせた。

見守り活動はCSR（企
業の社会的責任）活動の一
環で、本社の近くにあり、
修学旅行や遠足で交流があ
ることから、同小学校で行
うことになった。10日から



児童の下校を見守る四国中央
観光のバス運転手―高松市田
村町

下校時間に合わせて実施し
ており、17日は同社のバス
運転手ら4人と同署の署員
5人が参加した。

参加者は学校付近の交差
点に立ち、停止灯を手に横
断歩道を渡る児童の安全を
確保したり、「気を付けて
ね」などと声掛けをしたり
していた。児童は「元気にあ
りがとつございます」と感
謝を述べていた。

同社の樋笠勇樹事業部
課長(41)は「しっかりと
あいさつを返してくれ、私
たちも朗らかな気持ちで
活動できている。今後も子
どもたちの安全安心を守
っていきたい」と話してい
た。

